

The image shows several rectangular wooden blocks. The top surfaces of two blocks are painted a vibrant red, though the paint is cracked and peeling in places, revealing the natural light-colored wood underneath. The wood grain is clearly visible on the sides of the blocks. In the upper right, a circular hole is cut into one of the wooden pieces. The background is dark, making the wood and red paint stand out.

第9回ぎふ・関 全国子ども木の造形作品コンクール

# 作品集

関市子ども文化事業実行委員会



第9回ぎふ・関 全国子ども木の造形作品コンクール  
作品集

■ 展示期間 \_\_\_\_\_  
2019.2.2~2.3

■ 場所 \_\_\_\_\_  
関市文化会館

■ 主催 \_\_\_\_\_  
関市子ども文化事業実行委員会

■ 後援 \_\_\_\_\_  
文化庁  
岐阜県  
岐阜県教育委員会  
関市文化協会  
関市  
関市教育委員会

## ご 挨拶



全国子ども木の造形作品コンクール大会長  
関 市 長  
尾関 健治

関市は日本一の刃物のまちとして名高いばかりでなく、江戸時代全国各地を行脚し、鉦一丁で芸術性豊かな仏像を数多く残した「円空」終焉の地でもあります。

この「刃物」と「円空」を結び、文化の薫り高きまち関市を全国にアピールするとともに、21世紀を担う子ども達の文化性・創造性を高め、「豊かな心の育成」に寄与することを目的に、「全国子ども木の造形作品コンクール」を隔年開催しております。

今回は第9回目に当たり、全国から262点の応募をいただきました。作品の中には前回よりも意欲的な作品が多く、どの作品からも子ども達が一生懸命に木と向き合い、木の良さを最大限に活かした作品づくりの跡が伝わってきました。

出品された全作品を関市文化会館に展示し、2日間で約6,000人の方が来場され、多くの皆様に子ども達の豊かな発想やユーモアあふれる作品を観ていただけたことを大変うれしく思います。

今後、このコンクールを通して、子ども達の人間形成に大切な思いやりの心や自然を愛する心の育成につながることを切に願っています。

本コンクールを成功させることができましたのも、ご支援、ご協力いただきました審査員の先生方、そして児童生徒の作品応募にご尽力をいただきました関係の皆様方のお力添えあってのことであり、ここに深く感謝を申し上げます。最後に、この作品集が子ども達の豊かな心を育てることに役立つよう、多くの学校や図書館で活用されることを心からご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

## ご 挨拶



関市子ども文化事業  
木の造形作品の部運営委員長  
傍島 幹司

この関市子ども文化事業は1999年から始まり、木の造形作品コンクールは今年で第9回を迎えることになりました。関市文化会館の会場には展示の2日間で約6,000人の方々が来場され、子どもたちの意外性のあるユニークな作品に賞賛と感嘆の声が聞かれました。まずはこうした素晴らしい作品を出品してくれた児童生徒の皆さん、そしてご協力くださいました保護者や先生の熱意に深く感謝いたします。

本コンクールの受賞作品及び概要を審査員の先生のコメントを交えてご紹介していきたいと思います。全体の印象として「毎回選ぶことに苦労するがとても楽しい時間だ。アートの役に立たないもののおもしろさを感じていただけたら」「美術と技術の違いを考えさせられる。実物と対面して感じるライブ感が素晴らしい」と仰っていました。

個人の部の円空大賞の木村君の「トラかきょうりゅうか?」は木を焦がしたり、さびた釘をたくさん打ち込んだり様々な工夫がいっぱいで、不思議な怪獣を作りました。金賞の北川君の「ちよとつもうしん」は作者が乗れるほどの大きさで存在感があり、目がとても可愛い表情でした。また共同作品の部の円空グランプリには前回に続き西陵中学校の皆さんの「みたい。ききたい。はなしたい。」が選ばれました。作り込みが素晴らしくタイトルどおり、生徒と指導者の一体感のある情熱が伝わってきます。金賞の富野中学校の「我に返る」は、緑色の大きなカエルが斬新で、その手前の小さな蛇にユーモアも感じられました。他に審査員の先生方が個々に気にかかったものには審査員特別賞として評価されました。

この事業はもちろん材料や制作の際には大人のサポートが必要になっていますが、発想は子どもであり、大人とのコラボレーションにこの企画の意義があります。知らぬ間に合理的な用途や利便性に支配されている大人が屈託のない子どもの遊び心と交わることで、アートの楽しさを親子で感じていただけたらと思います。

最後にこれまで運営委員長として第8回までこの「全国子ども木の造形作品コンクール」を支えていただいた石原ミチオ先生から、運営委員として携わってきた私が今回から運営委員長を引き継ぐことになりました。この企画がより豊かに、また市民の皆様に浸透するよう心掛けていきたいと思っています。本事業を支えていただきました関市長はじめご尽力いただきました関係者の皆様に深く感謝申し上げ、今後更に継続発展することを祈念し、ご挨拶いたします。

■ ご挨拶	
▶ 全国子ども木の造形作品コンクール大会長・関市長 尾関健治 ……	2
▶ 関市子ども文化事業・木の造形作品の部運営委員長 傍島幹司 ……	3
■ 個人作品の部	
▶ 円空大賞 ……	6
▶ 金 賞 ……	7
▶ 銀 賞 ……	8
▶ 銅 賞 ……	9
▶ 審査員特別賞 ……	10
▶ 入 選 ……	11
■ 共同作品の部	
▶ 円空グランプリ ……	24
▶ 金 賞 ……	25
▶ 銀 賞 ……	26
▶ 銅 賞 ……	27
▶ 審査員特別賞 ……	28
入 選 ……	29
■ 学校奨励賞 ……	31
■ 開催概要 ……	32
■ 関連事業 子ども木の造形創作教室（高学年）（低学年） ……	36
■ 子ども運営委員の活動 ……	40
■ 謝 辞 ……	41
■ 円空と関市 ……	42

●作品集 作品寸法（幅×奥行き×高さ）

# 個人作品の部

大賞  
空賞  
円賞  
金賞  
銀賞  
銅賞  
審査員特別賞  
入選



《トラかきょうりゅうか?》 岐阜県関市立富岡小学校 4年 木村 日向 60×180×60cm



《ちよとつもうしん》 岐阜県関市立安桜小学校 5年 北川 晴 49×180×68cm



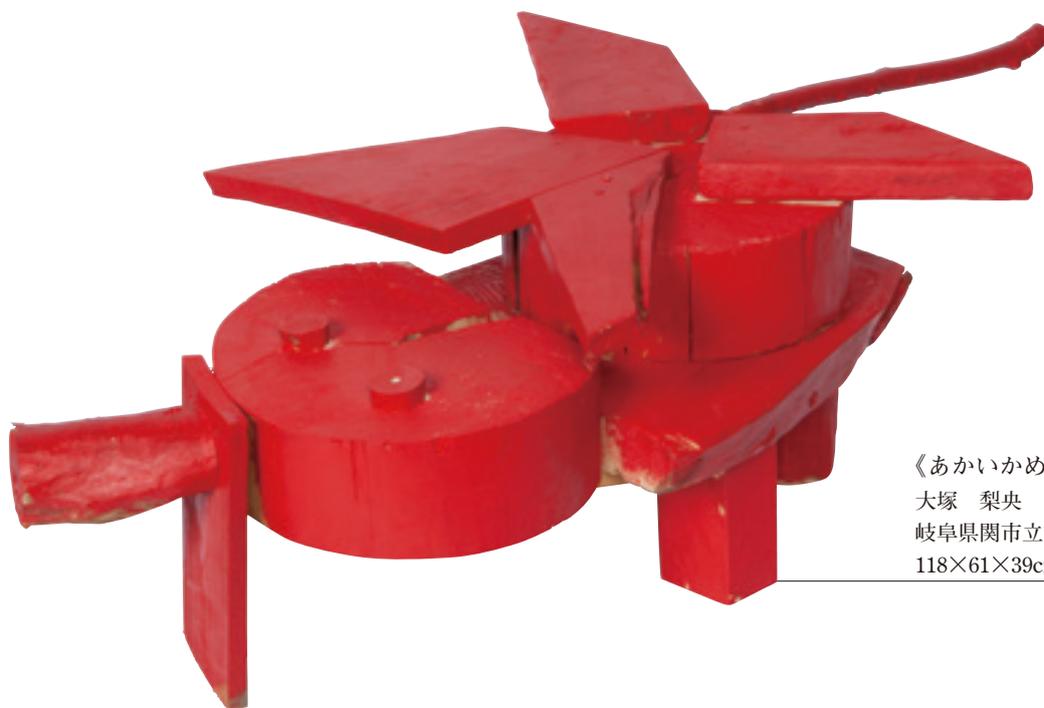
《ゲンちゃん大すぎ》 岐阜県関市立田原小学校 3年 則竹 江南美 73×90×85cm



《えんぴつささったつくえ》 岐阜県関市立安桜小学校 4年 浮中 碧衣 150×32×58cm



《はばたくぼくの鳥》 岐阜県関市立金竜小学校 2年 後藤 瑛斗 100×50×10cm



《あいかめ》

大塚 梨央

岐阜県関市立武儀西小学校 1年

118×61×39cm



《ピアノチェア》

佐藤 里虹

岐阜県関市立桜ヶ丘小学校 6年

137×30×43cm



《パズルがたつくえ》

田下 和  
関市立博愛小学校 4年  
94×65×38cm



《ビッグクワガタ》

山田 恵哉  
関市立下有知小学校 4年  
30×6×95cm



《たそがれのライオン》

平野 正晃  
関市立桜ヶ丘小学校 2年  
35×100×35cm

《わたしだけの自由な机》

亀丸 美咲  
 関市立桜ヶ丘小学校 6年  
 137×41×46cm



《ぼくだけの刀》

山田 照喜  
 関市立下有知小学校 5年  
 114×23×22cm

《ゆらりとゆれるたな》

藤吉 娃奈  
 関市立博愛小学校 4年  
 120×64×113cm



《なんじゃこりゃのおじぞうさま》

辻 優都

関市立下有知小学校 5年

90×40×93cm



《しかにいていとけい》

吉田 桃

関市立安桜小学校 4年

67×25×93cm



《きらきら宝箱》

山中 煌凜

関市立下有知小学校 5年

29×24×32cm





《つき合わない? (くじゃく)》

山田 菜々美

関市立下有知小学校 6年

130×30×140cm

《べんなべんち》

山田 暖真

関市立下有知小学校 4年

85×46×41cm



《とどうふけんがかいてあるつくえとうさぎのいすとカラフルえんぴつ》

上村 篤ノ新

関市立安桜小学校 4年

90×50×89cm

《突っ走れ！》  
立木 結子  
関市立緑ヶ丘中学校 2年  
150×55×75cm



《カラフルバス》  
沼田 奏音  
関市立倉知小学校 4年  
45×17×26cm

《シンリヌス》  
田村 進  
関市立金竜小学校 3年  
140×60×70cm





《え物を狙うたか》  
小山 蓮  
関市立板取小学校 5年  
95×35×35cm



《夏の思い出》  
上田 志央  
関市立金竜小学校 5年  
32×32×100cm



《流木で「きりん」を作った》  
塚原 蒼介  
関市立金竜小学校 1年  
100×16×96cm



《雪の結晶ライト》  
後藤 快弥  
関市立金竜小学校 4年  
50×50×50cm

《護法神立像》  
酒井 一真  
岐阜市立東長良中学校 1年  
30×20×100cm



《ハシビロコウ》  
河野 舞心  
羽島市立中島中学校 1年  
11×7×13cm



《平和へと導く鳥》

山下 黎碧

関市立桜ヶ丘中学校 3年

63×110×85cm

《四角形につくえ》

山藤 成珠

関市立下有知小学校 6年

73×83×48cm

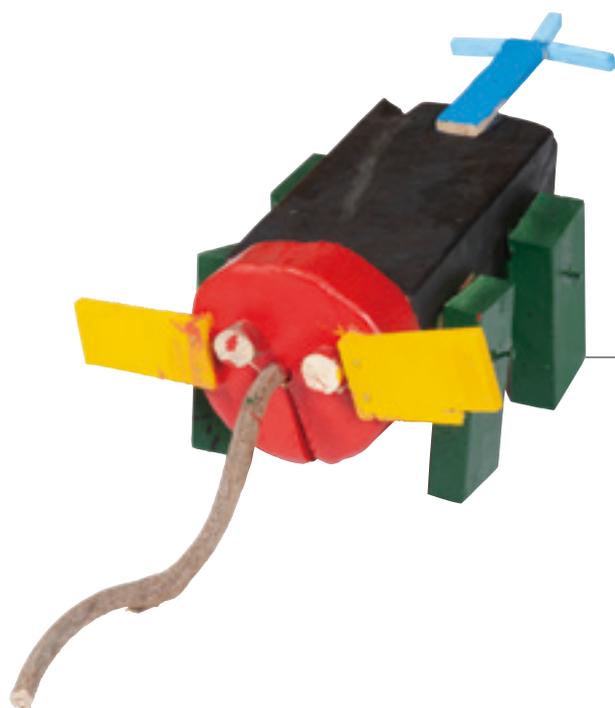


《夏のかぶと虫》

岩井 翔飛

関市立金竜小学校 2年

85×92×108cm



《いっしょうけんめいつくったぞう〜!》

永井 太一

関市立博愛小学校 2年

27×70×19cm



《うみをおよぐかめ》

田内 創大

関市立武芸小学校 1年

52×47×59cm



《あべこべいす》

山下 蒼椎

関市立桜ヶ丘中学校 1年

35×66×95cm

《鳥》

河合 涼

愛知県立一宮東特別支援学校 2年

21×21×25cm



《主》

後藤 和真

関市立下有知中学校 1年

110×43×57cm



《龍》  
今井 申  
NPO法人響愛学園 5年  
160×13×50cm



《木と暮らすスローライフ》  
加藤 大画  
岐阜県立岐阜工業高等学校 3年  
60×120×120cm



# 共同作品の部

円空グランプリ

金 賞

銀 賞

銅 賞

審査員特別賞

入 選



《みたい。ききたい。はなしたい。》 岐阜県土岐市立西陵中学校 1・3年 西陵中の仲間たち 63×76×131cm



《我に返る》 岐阜県関市立富野中学校 1~3年 100×90×90cm



《お花見》 岐阜県関市立田原小学校 6年 90×90×35cm



《我が家のキッチン》 岐阜県関市立瀬尻小学校 6年 180×50×70cm



《津保谷の復興を願って》 岐阜県関市立武儀西小学校 6年 60×60×100cm



《KIZUNAドラゴン》  
岐阜市立精華中学校  
精華中きずな学級 1~3年  
78×50×172cm



《ニコニコの木》  
岐阜県立関特別支援学校  
中高等部  
100×100×100cm

《みんなの学校》  
岐阜県立関特別支援学校  
高等部  
100×100×100cm





《空中第1公園》  
関市立南ヶ丘小学校  
南ヶ丘小学校3・4年  
70×60×170cm



《空中第2公園》  
関市立南ヶ丘小学校  
南ヶ丘小学校3・4年  
140×60×60cm

# 学校奨励賞

(小学校)

岐阜県関市立金竜小学校

(中学校)

岐阜県岐阜市立精華中学校

## 開催概要

### 「第9回 ぎふ・関 全国子ども木の造形作品コンクール」

#### 募集要項・抜粋

- 1 応募資格 全国の小・中・高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒
- 2 作品内容 ●切ったり、けずったり、くっつけたりした木の作品(素材は木を主とする)
  - ・大きさは、縦・横・高さのどれか1辺が10cm以上で、縦・横・高さの合計が3m以内のもの
  - ・重さは約100kg以下
  - ・色をつけてもよい
  - ・未発表の作品
  - ・輸送・展示に耐えられるもの●個人作品部門と共同作品部門の部に各1点出品できます。
- 3 応募用紙提出期間 ・規定の応募用紙を使い、郵送かFAXまたは電子メールにPDF化したものを添付し、申し込んでください。  
〈応募用紙提出期間〉平成30年8月27日(月)～12月7日(金)
- 4 展示(審査)会場 関市文化会館 岐阜県関市桜本町2丁目30-1
- 5 会場作品搬入期間 平成31年1月25日(金)～1月27日(日)
  - 県内からの出品は、原則として出品者で会場へ搬入してください。
  - 県外からの出品については、主催者が運送費を負担します。  
作品管理の都合上、主催者の指定する業者を使っていただきます。  
※作品搬入案内は12月下旬発送予定

#### 6 審査員



高島 純  
名古屋生まれ  
絵本作家



高橋 秀治  
可児生まれ  
岐阜県現代陶芸美術館 館長



河西 栄二  
山梨県生まれ  
彫刻家  
岐阜大学教育学部教授

#### 7 賞

##### 個人作品の部

円空大賞	… 1点	賞状、盾、図書カード10万円
金賞	… 1点	賞状、盾、図書カード5万円
銀賞	… 1点	賞状、盾、図書カード3万円
銅賞	… 2点	賞状、盾、図書カード1万円
入選	… 30点	賞状

##### 共同作品の部

円空グランプリ	… 1点	賞状、盾、作品制作補助として15万円
金賞	… 1点	賞状、盾、作品制作補助として8万円
銀賞	… 1点	賞状、盾、作品制作補助として5万円
銅賞	… 1点	賞状、盾、作品制作補助として1万円
入選	… 5点	賞状

審査員特別賞… 3点 賞状、盾

学校奨励賞… 若干 賞状、盾

※審査の結果、賞に該当のない場合があります。

※円空大賞、円空グランプリ受賞作品の所有権は主催者に帰属するものとします。

- 8 表彰式 平成31年2月3日(日) 関市文化会館大ホール

# 第9回ぎふ・関 全国子ども 木の造形作品コンクール



## 作品募集

応募資格: 全国の小・中・高等学校及び特別支援学校に在籍する児童生徒  
応募用紙: 平成30年8月27日(月)→12月7日(金)  
提出期間: 平成30年8月27日(月)→12月7日(金)  
応募先: 〒501-3232 岐阜県関市桜本町2丁目30-1 関市子ども文化事業実行委員会事務局



展示期間: 平成31年2月2日(土)→3日(日) 午前9時30分～午後4時30分 (最終日は午後2時まで) 展示会場: 関市文化会館

主催: 関市子ども文化事業実行委員会 共催: 関市 後援: 文化庁・岐阜県・岐阜県教育委員会・関市文化協会・関市教育委員会

問い合わせ: 関市子ども文化事業実行委員会事務局 〒501-3232 岐阜県関市桜本町2丁目30-1 TEL0575-24-6455 FAX0575-24-6950 <http://www.city.seki.lg.jp/0000000273.html>

前回(第8回)入賞作品



個人作品の部 金賞  
キングカブト 山田 健斗  
関市立緑ヶ丘中学校 1年



個人作品の部 金賞  
嵐立ち 杉山 駿介  
関市立博愛小学校 6年



共同作品の部 円空グランプリ  
未来への希望と今の私たち  
土岐市立西陵中学校 西陵中美術部 2名



共同作品の部 金賞  
今晚のおかずは、何だろう?  
関市立瀬尻小学校 6年 74名

■作品応募状況

個人作品の部	校種	市内	県内	他県	合計
	小学校	177	15	5	197
	中学校	22	13	5	40
	高等学校	0	1	3	4
	合計	199	29	13	241

共同作品の部	校種	市内	県内	他県	合計
	小学校	6	1	0	7
	中学校	2	3	0	5
	高等学校	1	0	3	4
	小中高	5	0	0	5
合計	14	4	3	21	

作品数合計				262
-------	--	--	--	-----

県外からの出品  
 埼玉県、東京都、山梨県、  
 岐阜県、愛知県、福岡県、  
 (6都県)

■入賞入選状況

■個人作品の部

校種別入賞入選状況

校種	円空大賞	金賞	銀賞	銅賞	審査員特別賞	入選	合計
小学校	1	1	1	2	2	23	30
中学校	0	0	0	0	0	6	6
高等学校	0	0	0	0	0	2	2
合計	1	1	1	2	2	31	38

地域別入賞入選状況

校種	市内	県内	県外	合計
小学校	29	0	1	30
中学校	4	2	0	6
高等学校	0	1	1	2
合計	33	3	2	38

■共同作品の部

校種別入賞入選状況

校種	円空グランプリ	金賞	銀賞	銅賞	審査員特別賞	入選	合計
小学校	0	0	1	1	1	2	5
中学校	1	1	0	0	0	1	3
高等学校	0	0	0	0	0	1	1
小中高	0	0	0	0	0	1	1
合計	1	1	1	1	1	5	10

地域別入賞入選状況

校種	市内	県内	県外	合計
小学校	5	0	0	5
中学校	1	2	0	3
高等学校	1	0	0	1
小中高	1	0	0	1
合計	8	2	0	10



審査会



作品展示会場



表彰式

## 関連事業 子ども木の造形創作教室（高学年）（低学年）

平成29・30年度

### 「子ども木の造形創作教室」実施要項

- 1.趣 旨 「第9回ぎふ・関 全国子ども木の造形作品コンクール」作品展の関連事業として本事業を実施する。コンクール出品をめざす児童生徒の指導・援助を行う。
- 2.対 象 「第9回ぎふ・関 全国子ども木の造形作品コンクール」作品展の出品作品をつくりたいと願っている小中高等学校及び特別支援学校の児童生徒。
- ※ 「子ども木の造形創作教室(高学年)」は小学校4年生以上の児童生徒から参加者を募集し、時間をかけてじっくり作品づくりに取り組む内容にする。
  - ※ 「子ども木の造形創作教室(低学年)」は、小学校1年生から3年生までの児童から参加者を募集し、木の造形に親しみをもてる内容にする。
  - ※ 「全日程への参加」「保護者による送迎」「写真・感想等の協力」「コンクールへの参加」を申込段階で確認をする。
  - ※ 個人作品の制作に限定し、共同作品の制作希望者の参加は認めない。
- 3.内 容 講師のアドバイスを受けて、コンクールに出品する作品制作に当たる。
- 4.主 催 関市子ども文化事業実行委員会
- 5.主 管 関市立中池自然の家
- 6.日 程 5月下旬 募集要項配布  
6月下旬 参加申込受付期間終了
- |   |
|---|
| 「子ども木の造形創作教室(高学年)」(小学4年～高校生)<br>平成29年8月 2日(水)～平成29年8月 4日(金) (3日間)<br>平成30年8月 1日(水)～平成30年8月 3日(金) (3日間)<br>「子ども木の造形創作教室(低学年)」(小学1年～3年)<br>平成29年8月 9日(水)と平成29年8月10日(木) (1日間)<br>平成30年8月 8日(水)と平成30年8月 9日(水) (1日間) |
|---|
- 7.会 場 関市立中池自然の家(関市塔ノ洞3885-1)
- 8.定 員 平成29年度 36名定員・平成30年度 30名定員
- ・参加者多数の場合は、抽選により決定する。
  - ・参加者決定後、すべての応募者の保護者と学校へ結果を連絡する。
- 9.指導者及びスタッフ
- ・指導者は、参加者の作品制作の指導に当たる。
  - ・スタッフは、指導者を補佐し、参加者の制作活動を援助すると共に、指導者・参加者の活動全般を援助する。
- 10.費 用
- ①参加費として1人1日当たり800円を徴収する。参加費は食費・保険代に充てる。
  - ②作品制作のための材料・用具の主たる物は、主催者で準備する。  
\*特別な金具・用具については参加者と自然の家で相談する。

平成29年度

■参加者数

教室名	参加者数
「子ども木の造形創作教室(高学年)」8月2日～8月4日	35名
「子ども木の造形創作教室(低学年)」8月9日	35名
「子ども木の造形創作教室(低学年)」8月10日	36名

■「子ども木の造形創作教室」講師

指導講師氏名	略歴等
石原 ミチオ	画家 関市子ども文化事業実行委員
傍島 幹司	画家 名古屋芸術大学大学院講師
ヒサオ・カメヤマ	彫刻家
土屋 明之	彫刻家 中部学院大学短期大学部特任教授
後藤 譲	彫刻家
山下 隆	木工作家
佐部利 典彦	美術家 富山国際大学講師
長屋 芳美	救護員

平成30年度

■参加者数

教室名	参加者数
「子ども木の造形創作教室(高学年)」8月1日～8月3日	30名
「子ども木の造形創作教室(低学年)」8月8日	30名
「子ども木の造形創作教室(低学年)」8月9日	29名

■「子ども木の造形創作教室」講師

指導講師氏名	略歴等
石原 ミチオ	画家 関市子ども文化事業実行委員会顧問
傍島 幹司	画家 名古屋芸術大学大学院講師
佐部利 典彦	美術家 富山国際大学講師
土屋 明之	彫刻家 中部学院大学短期大学部特任教授
後藤 譲	彫刻家
二村 元子	造形作家
長屋 芳美	救護員
佐藤 美穂江	救護員

## 木の造形創作教室

講師の先生から道具の安全な使い方を学んだあと、作品イメージ作りをしました。椅子や本箱などの既成の製品イメージから脱却することが大きなテーマです。



作りたい作品をイメージして材料を探しているところ。山のようにあった材料が見る見るうちになくなっていきます。



作品作りがスタートしました。自分がイメージした作品を形にするために集中して取り組みます。必要に応じて着色もしました。



子ども運営委員のアドバイスを受けながら作品作りをしています。完成が楽しみです。



講師のアドバイスを受けながら制作活動に取り組む児童



## 子ども運営委員の活動

文化活動やボランティア活動に関心や意欲をもっている児童生徒を公募し、毎年「関市子ども文化事業子ども運営委員会」を組織しています。今年度は、小学校5年生から高校3年生までの41名が、ボランティアの気持ちを大切にし、コンクールの成功に向けた宣伝活動や木の造形創作教室、子ども俳句教室を中心に活動を行ってきました。

### <今年度の主な活動>

- 子ども俳句教室のスタッフとして参加者を支援
- 「木の造形創作教室」のスタッフをして参加者を支援
- 岐阜市内における宣伝活動（新聞社・テレビ局）
- コンクール表彰式の運営や進行



子ども俳句教室での句会の準備



子ども運営委員会



木の造形創作教室参加者の支援



コンクール表彰式の受付・司会進行など

## 謝 辞

本事業の推進に当たりまして、下記の諸機関・諸団体から貴重なご指導ご助言を賜りました。また、資料提供、材料提供等においても多大なご支援ご協力を賜りました。関係の皆様へ深く感謝申し上げます。

全国造形教育連盟

(財)教育美術振興会

岐阜県小学校図画工作科研究部会

岐阜県中学校美術科研究部会

岐阜県高等学校美術科研究部会

(有)もくもくハウス

山下木工

岐阜大学教育学部美術教育講座

(順不同・敬称略)



## 円空終焉の地・関市

円空は江戸時代のはじめ、寛永9年(1632年)に美濃国(岐阜県)で生まれました。このことがわかったのは昭和45年(1970年)のことです。円空50歳(1681年)の時、群馬県富岡市の貫前神社で大般若経を補修し、その奥書にみずからの筆で「壬申年生美濃国円空」と書き残したのです。円空没後100年余りのち(1790年)に書かれた『近世畸人伝』には、関市にゆかりの深い人物として円空と惟然(いねん)が取り上げられています。

そのなかで「僧円空は、美濃の国竹ヶ鼻(羽島)という所の人なり。……池尻にかへりて終をとれり。」と書いてありますが、生誕地については諸説あり、決着していません。円空は若くして出家し、岐阜県を中心に北海道から近畿地方の諸国を遊行し、各地の霊山で修行を重ねながら、誓願を胸に秘め、おびたしい数の像を、人々の幸を願い彫り続けました。現在知られている像は5,200体ほどあります。円空は作仏の他、和歌を詠み、絵を描いており、これらの作品も円空の心を理解するのに貴重なものとして注目されています。晩年は関市池尻の弥勒寺を中興し、円空58歳(1689年)の時、滋賀県の園城寺尊栄から血脈を受け、その末寺となりました。元禄8年(1695年)死期を悟った円空は7月13日、弟子の円長に血脈を与え、7月15日、長良川の河畔で入定し、64年の生涯を終えました。

## 円空仏の宝庫・関市

円空がその晩年に自坊弥勒寺をかまえた関市域には、現在までに294体の円空仏が確認されています。このうち、神社・寺・お堂などでは、52ヶ所に192体、個人では、70戸に102体が知られ、また、地域別では、関地域168体、上之保地域55体、洞戸地域37体、武儀地域21体、板取地域7体、武芸川地域6体が知られています。

像の年代は、17世紀後半の寛文から元禄にわたる全時期のものがあ、終生この地域が円空にとってホームグラウンド(故郷・本拠地)であったことを物語っています。

## 円空の生涯

西暦	和暦	歳	事 績
1632	寛永9	1	美濃国に生まれる。(壬申の年)
1661	寛文1	30	この頃、伊吹(福)山で修行。
1663	寛文3	32	岐阜県郡上市美並町神明神社の神像などを彫る。
1666	寛文6	35	青森を経て北海道に渡り多数の仏像を彫る。
1674	延宝2	43	三重県志摩市三蔵寺の大般若経600巻を修復し、その扉に添絵を描く。
1675	延宝3	44	大峯山に入り、役行者像などを彫る。
1676	延宝4	45	この頃、名古屋市市中川区の荒子観音寺に滞在し、千数百体の仏像を彫る。
1680	延宝8	49	この頃、茨城・群馬・埼玉などで仏像を彫る。
1681	天和1	50	群馬県富岡市の貫前神社で大般若経を補修し奥書に「…壬申年生美濃国円空」と記す。
1684	貞享1	53	岐阜県関市洞戸高賀神社に滞在。
1685	貞享2	54	この頃、飛騨に滞在。
1686	貞享3	55	岐阜県羽島市狐穴稲荷神社御神体を彫る。長野県木曾郡南木曾町等寛寺で仏像を彫る。
1689	元禄2	58	滋賀県伊吹山で多数の像を彫る。岐阜県関市池尻の弥勒寺を中興し、滋賀県大津市園城寺の尊栄から血脈を受け弥勒寺はその末寺となる。
1690	元禄3	59	岐阜県高山市上宝町観音堂で今上皇帝像を彫り背面に「…十万仏作已」と記す。
1695	元禄8	64	弟子の円長に血脈を与え7月15日、弥勒寺長良川の河畔で入定する。



第9回ぎふ・関 全国子ども木の造形作品コンクール 作品集

企画・編集 関市子ども文化事業実行委員会事務局  
発行者 関市子ども文化事業実行委員会  
〒501-3894 岐阜県関市若草通3-1  
TEL 0575-23-7718 FAX 0575-23-7747  
発行年月日 平成31年3月1日  
印刷 協同印刷株式会社

